

高齢者の安全・安心な暮らしを実現するリビングケア

1月20日（火）に放送されたNHKクローズアップ現代「“無届け介護ハウス”急増の背景に何が」では、身寄りがなく、年金受給額の制約から認可を受けた介護施設に入ることができず、やむなく“無届け介護ハウス”に利用している高齢者が紹介されました。スプリンクラーなどの消火設備もなく、通常の民家に所狭しと並んだベット、プライバシーの確保もままならない施設の実態が描きだされました。今回の講義では、リビングケアが公的年金だけを受給している方でも安全・安心な暮らしを実現するためにやっている、独自の取り組みについてお話をさせて頂きました。



リビングケアが考える高齢者の安全・安心な暮らしのために必要な3要素

高齢者の安全・安心な暮らしに必要な3要素

①身体機能・認知機能の向上

②高齢者に関する専門職の知識と技能

③高齢者に合わせた住まい・環境

リビングケアのミッションは、個別ケアをキーワードに高齢者の方々の安心、安全、生活機能向上に取り組み、国の基本政策に準じた事業展開と他施設にはないニーズに合った介護施設、高齢者向けのモデルを地域に根ざした形で作るとともに、その地域で暮らす方々の健康増進にも寄与していくことです。このミッション遂行のためには、
 ①身体機能・認知機能の向上②高齢者に関する専門職の知識と技能③高齢者に合わせた住まい・環境という3つの要素を融合し、高齢者の安全・安心な暮らしを実現していくことが大切だと考えています。

高齢者の安全・安心な暮らしのために①身体機能・認知機能の向上

①身体機能・認知機能の向上

高齢者自身の身体機能と認知機能の低下は老齢化以外に認知症が影響していることが広く知られています。その機能低下を遅らせることひとつに、理学療法によるリハビリテーションの実施が効果的とされています。リビングケアでは老齢化及び認知症に合わせた機能訓練を行っています。

機能低下の原因	機能向上に必要な療法	関わる職種
老齢化 認知症 ・アルツハイマー型認知症 ・レビー小体型認知症 ・血管性認知症	精神機能を活発化させる療法 ・作業療法 ・レクリエーション ・音楽療法など 大脳を刺激する運動療法 ・散歩 ・体操・ストレッチ ・運動療法 （筋力強化、バランス訓練、関節可動域訓練）など	・医師 ・看護師 ・介護支援専門員 ・介護福祉士 ・理学療法士 ・作業療法士 ・運動指導士 ・健康運動実践指導者 ・スポーツトレーナー

高齢者の方々に安全・安心な暮らしをしていただくために欠かせないのが、身体機能、認知機能の維持と向上です。リビングケアでは、老齢化による身体機能の低下、認知機能低下の原因となる諸症状の進行を抑え、維持・向上につながる仕組みを整えています。具体的には、個々の利用者様の症状に合わせて、医師、看護師、理学療法士、作業療法士などの専門職がチームを作り、必要なケアを行うことで、安全・安心な暮らしにつなげていきます。

高齢者の安全・安心な暮らしのために②高齢者に関する専門職の知識と技能

②高齢者に関する専門職の知識と技能

高齢者に関する専門職は広い知識と確かな技術が求められます。これには介護現場での実務経験と実績、働きながら学ぶことでキャリアを向上させることが大切です。リビングケアは実務経験豊富な専門職がバックアップすることで知識と技能の向上を計っています。

実務経験



研修や勉強会



知識、技術の向上

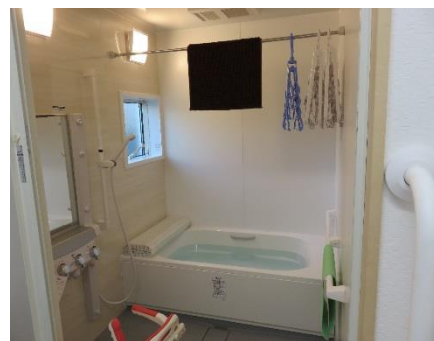


身体機能・認知機能の維持・向上につながるケアを行うために必要なのが専門職の知識と技能を高度に融合させるということです。

リビングケアでは、高齢者介護についての高い知見を持った医師が個々の利用者様の症状を診断し、理学療法士、作業療法士で機能回復訓練を行う。あるいは、その指導の下スタッフが適切な介護を行うなどして、身体機能・認知機能の維持・向上につなげていきます。

高齢者の安全・安心な暮らしのために③高齢者に合わせた住まい・生活環境の提供

適切なケアの提供と合わせて欠かせないのが、高齢者の方々に合わせた住まい・生活環境の提供です。日常生活における不意の転倒が骨折につながり寝たきりになってしまう恐れもあります。安全・安心な暮らしのためには、適度にバリアフリー化を行い、転倒事故などを未然に防ぐことも必要です。さらには、マイクロバブルで体の汚れが落とせる浴槽など、皮膚への刺激が少ない入浴設備なども欠かせません。リビングケアでは、高齢者の暮らしを熟知した、設計士、エンジニアが施設建設に携わることで、最適な住まい・生活環境の提供に努めています。



高齢者の安全・安心な暮らしのために④すべては人なり

最適なケアを提供するためには、高齢者の身体機能、認知機能についての知識と技能を有する医師、看護師、理学療法士、作業療法士、スポーツトレーナーなどの専門職、さらには、高齢者の暮らし方を熟知した設計士、エンジニアなどの専門職からなるチームが必要です。リビングケアでは、こうした高齢者の安全・安心を実現できる専門知識・技能を持つ人材を育成するためOJTはもとより、定期的な研修を行い常にレベルアップを行っています。高い知識を持った人材とケアを高度に融合させることで高齢者の老齢化、機能低下を食い止める。これがリビングケアのチームケアです。今後は、スタッフの資格取得も進め、人材育成のための専門の教育機関の設立も行う予定です。（2016年秋に予定。）

結びに

今回の特別講義では、これまで述べたリビングケアが行っている独自のケアについてお話をさせて頂くと共にカレッジで学ばれていることを生かし、将来、社会に貢献していただきたいことを受講者の皆さんにお伝えして、講義を終えました。

ご清聴頂きました日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジの学生の皆さん、関係者の皆様にご場を借りて御礼申し上げます。

日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジ内定者が事前研修

リビングケアでは、昨年より日本工学院八王子専門学校との相互交流の取り組みを進めて参りましたが、その成果として今年4月から、弊社に新入社員として入社される方が内定しました。現在、弊社が取り組む、独自のケアについての学びを深めるため、事前研修を唯の家 厚木長谷で行っています。今後もこうした取り組みを進め、利用者の皆さまに充実したケアができるよう人材育成、知識、技術の向上に努めて参ります。



リビングケアの新施設 今後のオープン予定

前月号でお知らせいたしました新施設オープン予定に変更がありましたのでご案内いたします。詳細は弊社ホームページでも掲載しておりますので併せてご覧ください。

URL : <http://www.livingcare.jp>

3月：南足柄市に「リビングケア訪問看護ステーション厚木サテライト南足柄」OPEN

6月：南足柄市関本に「リビングケア在宅診療所南足柄」OPEN

7月：南足柄市関本に医療対応型施設「リビングケア唯の郷南足柄関本1」OPEN

9月：海老名市門沢橋に自立支援型「リビングケア唯の家海老名門沢橋」OPEN

11月：南足柄市関本に「リビングケア複合施設」開設
自立支援型施設、生活機能向上型施設、コミュニティーセンターの3施設を備える
リビングケアの新複合施設がオープン致します。

編集後記・予告

リビングケアでは、安全・安心の介護をより多くの方々に提供できるように施設、人材の充実を図っていく予定です。今年はこれまで施設がなかったエリアにも新たに展開を行い、さらには医師、看護師、理学療法士、作業療法士などの専門家の充実を図って行くことを計画しています。日本工学院八王子専門学校スポーツカレッジの特別講義でも触れさせて頂きましたが、研修のみならず専門の教育機関の充実なども今後、行なって参ります。こうした取り組みについては、3月17日に開催される経営方針説明会で皆様にご説明させていただくことになっていきます。リビング便り4月号であらためてお伝えする予定です。

発行：株式会社リビングケア 運営部 広報
URL : <http://www.livingcare.jp>

横浜市西区北幸2-8-19横浜西口Kビル7階
TEL : 045-620-2006 FAX : 045-620-2032

入居のご相談・お問い合わせは

▶▶▶ **入居相談室**まで

受付時間 / 平日(月～金曜) 9:00～18:00

神奈川県下唯一の介護事業での経営革新認定企業

 **0120-252031**